

まちづくりの功績に感謝を込めて
平成29年度功労者・善行者表彰式

11月3日の文化の日、平成29年度津別町功労者・善行者表彰式が、中央公民館において執り行われました。

今年度は、功労者（自治、社会福祉、産業開発、消防）表彰を10氏、善行者表彰を1氏1法人が受賞し（受賞者の詳細は広報11月号に掲載）、佐藤多一町長から一人ひとりに表彰状と記念メダルが贈られました。続いて鹿中順一町議会議長、北所寿志雄町表彰審議委員会委員長より、町の発展や振興に多大な貢献をされた方々の功績を称える祝辞があり、受賞者を代表して白馬康進さん（自治功労者）が謝辞を述べられました。



▲前列左から、中川英一さん、石川勝夫さん、佐藤町長、白馬康進さん、細川サチ子さん、後列左から丸玉木材津別工場長・松岡道雄さん、近藤益夫さん、中村善徳さん、近藤弘和さん、近藤雅浩さん、細川隆さん、有岡與一さん

津別の物産が大集合！
2017つべつ産業まつり開催

実りの秋の恒例イベント「2017つべつ産業まつり」（主催 つべつ産業まつり実行委員会）が、10月29日、さんさん館一帯と町道105号線の一部を会場に開催されました。



▶野菜、シジミ貝直売に行列

開会式に続いて、地元産野菜の直売や網走漁協、西網走漁協によるシジミ貝、鮭ハツの塩焼き販売などが行われ、多くの人が列に並びました。他にも人気のいも・玉ねぎ詰め放題や米、砂糖等特価販売のタイムサービス、豪華景品が当たるお楽しみ抽選会など、お得な企画が目白押し。ステージでは山鳴太鼓保存会による迫力ある太鼓演奏、さんさん館ホールでは津別中学校吹奏楽部による演奏も行われ、来場客は秋の一日を楽しみました。

町有林オフセット・クレジット
購入団体に町から感謝状を贈呈

「平成29年度津別町町有林オフセット・クレジット（J-VER）感謝状贈呈式」が、10月24日、林業研修会館で行われ、出席4団体（北見市玉葱振興会特別栽培部会、北見市こだわり野菜部会真白栽培グループ、北海道アルバイト情報社、生活協同組合コープさっぽろ）に佐藤町長から感謝状が贈られました（今年度感謝状贈呈先は7団体）。

J-VERは、国内の温室効果ガス排出削減・吸収プロジェクトにより削減・吸収された温室効果ガスを環境省が認証し、クレジットとして発行される制度で、津別町の町有林は平成22年に同プロジェクトの認証を受けています。環境活動に取り組む企業等が排出した温室効果ガスについて、クレジット購入により埋め合わせし、津別町の森づくりに支援いただいています。



▲左から(株)北海道アルバイト情報社北見営業所・江戸城治所長、北見市こだわり野菜部会真白栽培グループ・田中茂樹副部会長、佐藤町長、北見市玉葱振興会特別栽培部会・田中知行部会長、生活協同組合コープさっぽろ・外川雅喜北見地区本部長

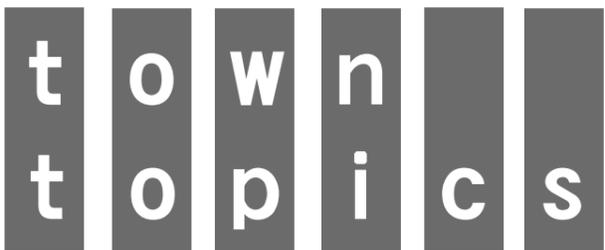
ホームステイ、高校通学で異文化に触れる
青少年海外研修派遣事業帰町式

11月2日、津別町青少年海外研修派遣事業によるニュージーランド研修の帰町式が行われ、派遣された津別高校の生徒が、佐藤町長らに研修修了の報告を行いました。

10月13日から13日間、オークランド市内でホームステイをしながら高校通学プログラムなどに参加した生徒たちは、「相手の言葉（英語）を理解する力が足りないと感じたが、目標としていたことはできた」、「食をテーマに研修に臨み、日本食の良さを再発見した」、「ホームステイ先のホストファミリーが親切だった」などと、それぞれ印象に残った事柄を話しました。



町長からは、「違う文化と接した経験を、今後に生かしてください」とアドバイスがありました。



まちのわだい

入院患者を火災から守る
津別病院で避難訓練

秋の火災予防運動期間中の10月24日、津別病院で避難訓練が行われました。

訓練は1階ごみ置き場から出火したという想定で行われ、非常ベルが鳴る中、職員が入院患者に見立てたダミーを担架や車椅子で次々に運び出し、安全な場所まで避難しました。

参加者はてきぱきと動き、想定時間内で訓練を終了。津別消防署の笠川署長からは、「皆さん真剣でよかったですと思います」と合格点の講評がありました。



津別産の食材を子どもたちに
肉牛振興会が和牛肉寄贈

津別町肉牛振興会（迫田浩司会長）から町教育委員会に、津別町産和牛肉30kgの寄贈があり、10月30日、宮管教育長に目録が贈られました。

肉牛振興会員が生産した津別和牛を学校給食に提供することで、子どもたちに酪農に対する理解を深めてもらい、食育に貢献したいとの思いから毎年実施されているものです。

寄贈された牛肉は、全て地場産物の食材を使用する「オール津別食材による給食」の日（11月実施）に、牛丼として提供されました。



▶宮管教育長（左）と津別町肉牛振興会・北野淳志副会長

まちバスの車体側面に掲示
交通安全標語ステッカー寄贈



11月7日、津別町交通安全協会（柳瀬輝彦会長）から、まちバス掲示用交通安全標語ステッカーが寄贈されました。ステッカーには「第25回交通安全に関する標語コンクール」小学生の部・最優秀賞「ゆずり合う 優しい心で 運転を」（現・津別中学校1年 植松歩有子さん）、中学生の部・最優秀賞「ドライブバー あせる心に プレーキを」（現・津別中学校3年 迫田夢人さん）の標語がそれぞれプリントされており、交通安全啓発に役立てられます。

こどもステージとパフォーマンスショーに拍手喝采
じどうかんフェスタ2017（第10回）開催

10月21日、『じどうかんフェスタ2017』が、児童館つべつんで開催されました。

幕開けの「こどもステージ」では、児童館・つべつ児童クラブの子どもたちが、竹馬、一輪車、こまなどで練習成果を披露。最後は息の合ったバンブーダンスで締めくくりました。

続いてタイチ・ナカムラさんによるパフォーマンスショーが開演し、パントマイム、マジック、バルーンなど多彩なパフォーマンスで会場を沸かせました。



▶息の合ったバンブーダンスを披露